

甲賀市地域医療審議会 第2回水口医療介護センター部会 報告

部会長 木村医院 木村一博

令和4年2月3日(木) 14:00~15:45 甲賀市役所別館1階 101号室にて開催

- (1) 水口医療介護センター令和2年度決算および日曜診療実績について事務局から説明
- (2) 中期経営計画については、水口医療介護センターに対する諮問の答申(期限:令和4年8月末)以降に改めて策定するとの事務局から説明。
- (3) 第4回甲賀市地域医療審議会の審議経過(甲賀市水口医療介護センターのあり方検討にかかる意向調査回答状況まとめ)について事務局から説明があり、民間活力の導入(指定管理者制度を想定)を視野に入れた意見交換が行われた。

<意見>

- ・米原市の地域包括ケアセンター「いぶき」は、民間移行(指定管理)により自治医大から医師を迎えて非常にうまく運営されているので参考になる。運営に当たっては甲賀市の拠点となる介護・訪問看護事業が大切。小規模多機能的な施設があれば有難い。  
甲賀市の訪問看護師は県内でも少なく、民間移行した場合に現在の看護職員が他市へ流れ出ないように検討して欲しい。【訪問看護事業所】
- ・「ささゆり」は介護施設として非常に評価が高い。利用者の受け皿も考えていただきたい。指定管理制度は事業所にとって良い面もある一方、なかなか難しいことも多いが、この高評価を維持いただきたい。  
民間が参入しにくいところで不採算部門が出てくるのは仕方ない。税金が適正に利用されていれば問題ない。【甲賀市社会福祉協議会】
- ・民間導入をする場合、非常に難しいのが現場職員の意識や動向である。この問題をないがしろにせず、くれぐれも慎重に検討していただきたい。  
公的医療機関で補助金が出ていないところはない。いろんな形態を検討してもらいたいが、やはり「民でできるところは民」が基本だと思う。【代表監査委員】
- ・不採算部門を補っていただきたい。【介護サービス事業者協議会】
- ・当センターは特に介護部門の経営が難しい。職員の数は多いが、夜勤者が足りない。そして職員が高齢化している。したがって、経営形態の見直しも受け入れざるを得ない。  
職員は「抱え上げない介護」を地域に広めたいとの思いで頑張っており、民営に変わったとしても、そこは理解してもらえたら有難い。良い職員がいっぱいいるので、どうか活かしていただきたい。【水口医療介護センター】
- ・自分が方針を決められるわけではないので、答申に沿った人事をしていって、縮小すべきところは縮小で良いと思う。厳しい状況は理解しており、うまくまとまるよう動き方を考えている。【院長】
- ・市長、副市長とも協議し、「職員の身分は保証する」という方向性を出している。「後戻りしない覚悟」で前を見て、地域医療を守っていく責任を果たす。【健康福祉部部長】